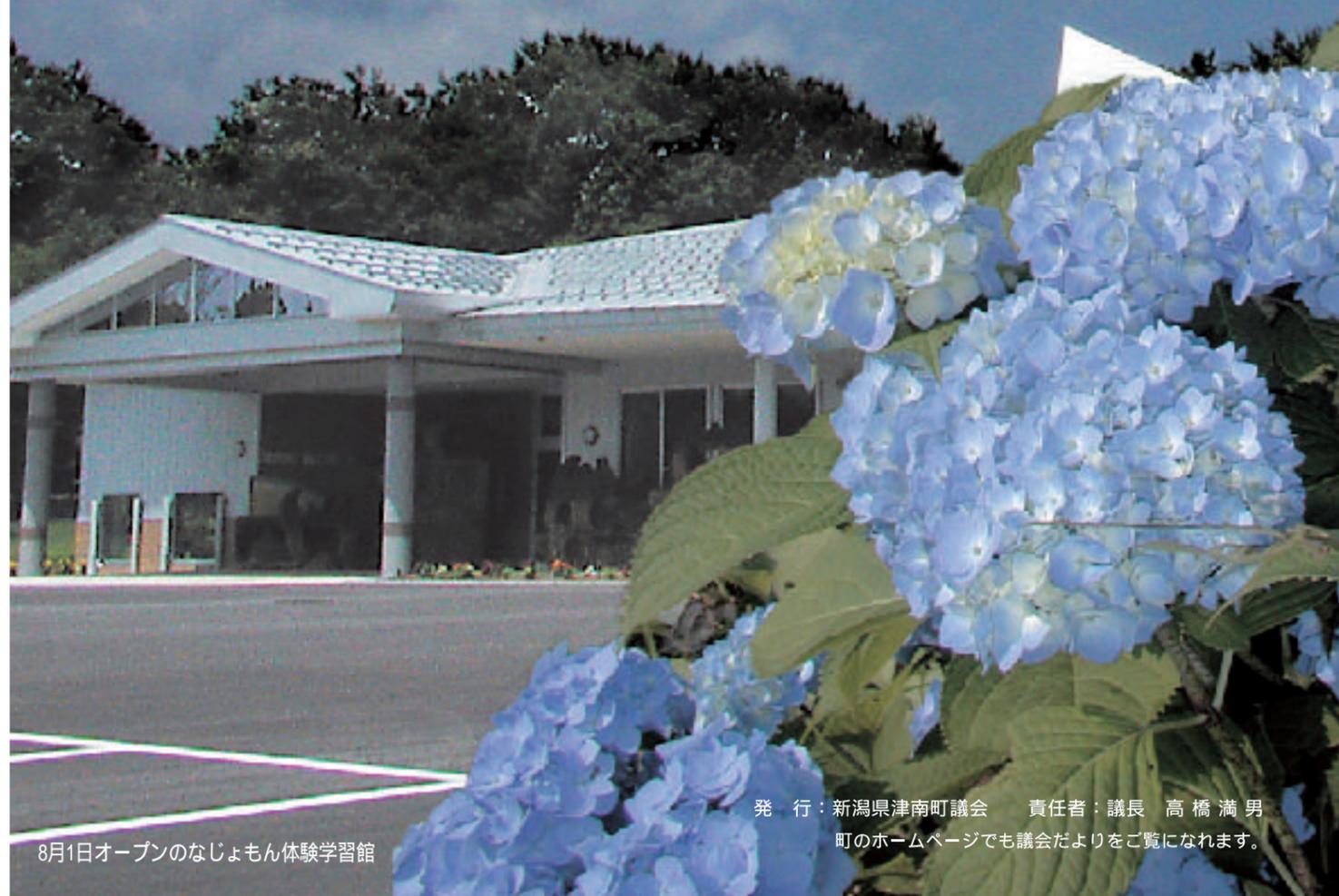


つなまち

TSUNANMACHI

6月議会定例会 : 6/15~6/21

- 決まったこと ②
- 病院決算 ⑤
- 一般質問 ⑥
- シリーズ 私も一言 ⑫



条例制定

農と縄文の体験実習館の設置 及び管理に関する条例

「なじよもん」の建設目的及び管理方法に関する取り決めで内容の一部は次のとおりです。

郷土における、農業、考古歴史、民俗、自然等に関する資料の収集、管理並びに調査研究を行うと共に、活用を図り、地域の学術、文化の発展に寄与するため、実習館を設置する。

管理者は、町教育委員会が行い、入館料は無料とする。ただし、企画展を観たり、体験学習をするときは、委員会が定めた料金を納めなければならない。

実習館の研修室等を使用する者は、委員会の許可を得、下記の使用料を納めなければならない。しかし、町長が認めたときは、企画展観覧料、体験学習料及び使用料の全部又は一部を免除することができる。等々の内容です。

使用料 (8月1日施行)

区分	午前9時から正午まで	午後1時から午後5時まで
研修室	3,000円	4,000円
企画展示室	6,000円	8,000円

条例改正

津南町の条例の一部を改正しました

津南町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例

期日前投票に際し職員のうちから任命又は委嘱されている者に対しては、報酬を支給しないことができる取り決めです。

津南町印鑑条例の一部を改正する条例

社会情勢が日々変化している中で、本人確認をより厳密に行い、事故、事件を未然に防止しようとする条例です。

津南町職員の給与に関する条例の一部改正

十月一日から機構改革に伴う職務の分類の改正です。

三町村合併協議会設置請求 賛成7票 反対10票で否決される

三町村合併を進める会の請求代表者藤ノ木太郎氏から、三町村合併協議会設置を求める請求が町に提出され、6月最終議会で町長の意見を付して審議が行われました。

まず、請求代表者の意見陳述が行われ、続いて6名の議員の質疑があり、賛成3名、反対1名の討論の後、記名投票を行い、賛成7票、反対10票で否決されました。

意見陳述の一部

三町村合併が自律の精神に矛盾するものではなく、門を閉ざすことこそ将来に禍根を残すことになる。地域は狭いより広く、人口は少ないより多い方が良い。合併問題ほど住民が直接意見を反映する直接民主主義になじむ事案はない。議会より門戸を開けてもらうことが肝要である。

質疑

応答

問 三町村合併協議会設置請求が否決されたときの対応は？

答 否決されることを予定していないし、相談もしていないが、住民投票の道もある。

問 松之山町と一緒になれば財政的に大変になるが、どう考えるか？

答 住む人々の知恵と計画と当局の力で予算が確保できる。アメとムチで合併を進めるのは、まともな国のあることではない。

問 同感だが、何年か先には必ずムチがあると思う。

答 両町村長は特例債を期待していると思うが、話し合ったことは？

問 合併すれば特例債はもらえるだろうが、そのための合併ではない。

答 「少子高齢化だから合併を」と言われているが、合併で解決できると思うか。解決できなければ合併する必要はない。

問 解決できる問題ではないが、将来が夢と希望に満ち、悩みがなくなれば解決すると思う。

平成15年度津南町病院決算

常勤医師確保により診療体制の整備が図られ、入院・外来患者ともに増加

全員賛成により決算を認定

事業費用

事業費用は、前年度決算比4.4%増の18億7,096万5千円、事業外費用が8%減の2,760万2千円、介護保険費用が20.3%増の136万3千円となりました。費用全体で4.2%増の18億9,930万円となりました。

事業収益

事業収益は前年度決算比18.5%増の16億9,068万8千円、事業外収益が22.0%減の2億4,702千円、介護保険収益が10.8%減の225万6千円であり、収益全体では2億5,117千円(12.1%)増の18億9,764万6千円となりました。

収支決算

経常損益で228万4千円の赤字決算であり、過年度損益を加算すると481万円の純損失となりました。前年度に比較し、大幅な経営改善が図られました。

患者の動向

入院で前年比60.3%増の31,441人、外来では0.5%増の84,701人となりました。入院では診療体制の充実が反映し、一方、外来は薬の長期投与が可能となり、再診患者が伸び悩んだ結果と

今後の課題

住民の健康維持増進を目標に、予防医学への取り組みを始め、往診・訪問看護の充実、生活習慣病対策の実施を図るとともに、待ち時間短縮等の患者サービスの向上に努めること、また職員一人一人の経営意識の高揚を図り、経営のより健全化に向けての努力が必要となります。

地域医療は高齢化率の上昇等により、生活習慣病等の治療の充実が求められています。15年度は常勤医師7人と非常勤医師による体制整備がなされました。また、7月より、3階一般病棟を改修し、療養病棟が導入され、それらによって入院・外来患者数はともに増加し、収支の改善が図られました。



療養病棟食堂でのお誕生日会



田中名誉院長の健康講話

請願・陳情・意見書

30人以下学級の実現をはじめとする教育予算の充実を求める請願

請願者 新潟県教職員組合十日町市中魚沼郡支部
執行委員長 川崎正男
津南町班班長 石井 裕

採 択 意見書提出
提出先 内閣総理大臣 財務大臣 文部科学大臣 総務大臣
意見書要旨

昨今の教育界はいじめや不登校、学級崩壊など極めて憂慮すべき状況である。これら深刻な問題を解決するためにも、画一的な教育から個性を大切に、ともに学ぶ教育へと転換が必要である。それには学級規模を30人以下に縮小し学びに応じたきめ細かな教育が可能になる教職員配置が必要である。

寒冷地手当の見直し改悪を行わず地方交付税の充実を求める陳情

陳情者 新潟県公務公共関連労働者共闘連絡会
代表 立石雅昭 加藤 満 名古屋利夫
新潟県労働組合総連合 議長 目崎静江
寒冷地手当制度の維持を求める意見書提出に関する陳情
陳情者 連合新潟官公部門連絡会
代表 堀口市郎

(2件一括審議)
採 択 意見書提出
提出先 内閣総理大臣 財務大臣 文部科学大臣
総務大臣 厚生労働大臣 人事院総裁

意見書要旨
寒冷地手当の見直しの影響は、支給対象者の公務員労働者だけでなく、寒冷積雪地域の産業や生活の基礎条件を改善するための豪雪地特別措置や小中高等学校費、生活保護費など地方財政計画の寒冷補正措置が取られているが、これらも切り捨てられる恐れがある。よって寒冷地手当制度の維持を強く要望する。

生活保護国庫負担削減と基準引下げ中止を求める請願

請願者 新潟県生活と健康を守る会連合会
会長 鈴木治雄

採 択 意見書提出
提出先 内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣
意見書要旨

生活保護制度は、憲法第25条の「すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」に基づいている。保護費の引き下げは保護世帯の生活に不安を与える。物価スライドによる生活扶助基準の引き下げや、年齢・母子加算の廃止など行わないよう求める。

「中山間地等直接支払い制度」の存続と拡充を求める請願

請願者 農民運動新潟県連合会 代表 町田 拓
採 択 意見書提出
提出先 内閣総理大臣 財務大臣 農林水産大臣
意見書要旨

この制度は、農業者の減少や高齢化による農地の荒廃が進む中山間地にとって大いに役立ち励みになっている。また、農山村の果たす多面的機能を求める国民の声に応えるためにもこの制度の存続と交付金の増額、条件緩和などより効果の上がる制度へと拡充を行うよう強く要望する。

国の財政再建優先の「三位一体改革」でなく地方分権のための地方財政改革を進める意見書採択を求める陳情

陳情者 新潟県公務公共関連労働者共闘連絡会
代表 立石雅昭 加藤 満 名古屋利夫
新潟県労働組合総連合 議長 目崎静江

採 択 意見書提出
提出先 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 衆議院議長
参議院議長

意見書要旨
基幹税による大幅な税源移譲を明確にするとともに、国庫補助負担金の廃止は、地方の裁量が増えるものを実施し、その際は基本的に税源を移譲する。また、地方交付税は、財源保障機能と財源調整機能を併せ持つものとして堅持すること。

人道的立場でJR不採用問題の早期解決を求める請願

請願者 04国民春闘新潟県共闘会議
議長 目崎静江

不採択



建設業の振興により町の発展を

町長 町内業者育成のため可能な限り発注

伊林康男 議員



県道田中と上野間の架橋工事

問 厳しい自立の道を選択したこともあり、財政規模の縮小、公共事業の削減と建設業界は容易でなく、存立基盤をも危うくしている。このことから、津南町発注に係る建設事業、関連の製図、施工、保守等すべて町内業者に発注できないか。また、元請企業は可能な限り地元下請企業に発注するように行政指導出来ないか伺う。

町長 町の発注状況は町内業者育成や、厳しい経済情勢に対応する観点からも可能なものすべて町内に発注してきた。下請については各企業がそれぞれの考えで

建設事業等の町内企業への発注を

選定しているが、出来る限り町内企業にと希望をだしている。

マウンテンパークの再生の考え方は

問 観光拠点としての河岸段丘の眺望、スキー少年団の育成、指導とスキー振興交流による文化高揚、経済効果、雇用の場等重要な施設である。この施設はどうしても再生させなければならぬが、考えを伺う。

町長 厳しいなかでの経営だけに町民や関係者の積極的なご協力を願いたい。誘客宣伝についても積極的にやりたい。

9名が登壇し質す

町内の給与所得者の平均所得は

町長 役場職員給与の方が高いことは承知している

村山久一 議員

確定申告、給与支払報告書で算出できないか

問 3月議会の一般質問で当局は町に資料が無く県の統計課の資料によれば442万6千円との答弁があったが、納得できないという町民の声があり、重ねて質問する。毎年税金の確定申告が行われ、給与所得者は給与支払報告書が提出されている。それらの資料により役場職員を除外した町民平均給与の算出を求めます。

町長 給与支払報告書による平均給与と所得を算出したいとのことだが、課税資料として提出されているものであり、課税以外の目的外使用は出来ない。ただ、一般町民より役場職員の給与が高いことは十分承知している。



問 納得できない。町民それぞれの税額は公表できないが、税務資料を基に算出するのは差し支えないと思うが、いずれにしてもこれからの健全な町政運営のために、各種資料、数値を整備し、公表することを強く要望する。

助役 税務資料を使うことは納税者との信頼関係にも係わることで慎重でなければならぬ。毎年の予算資料で町税の推計を出しており、単純計算は出来るが、正確には大変な作業となる。

基幹病院構想で町の医療体制はどうなる

町長 津南病院の機能は大きく変わらない

藤ノ木浩子 議員



厚生省のモデル山形県の置賜総合病院を視察

医療高度化検討報告
どう認識しているか

問 魚沼地域の医療高度化について、今年3月検討結果報告(案)がまとめられた。魚野川筋に基幹病院を設置し、それに伴って、既存の公立病院の医療機能の分担、連携の仕組みをつくるとしているが、検討会に町としてどう関わってきたのか。ベット数や医師確保の保障、医療機能はどうなるのか。

町長 検討報告では、高度医療を担う基幹病院が必要であり、魚野川筋に位置することや信濃川筋には、地域中核病院を置くことが盛り込まれた。県は協議会

を立ち上げるとしている。

当町は担当課長がオブザーバーとして参加し見守ってきた。ベット数は白紙の状態である。医師確保については、臨床研修病院群を構成し、研修機能を向上させ、医師確保をはかる。これに期待している。基幹病院は紹介患者率80%以上が義務付けられており、津南病院の機能は現在と大きく変わることはない。

国保の出産一時金を
受領委任払いに

問 町から直接医療機関へ一時金を支払う出産支援策を望む。

町長 望ましいのであれば、対応してもよいと考えている。

県境を越えた学校再編は可能か

教育長 選択肢としてある。法的には可能

藤ノ木富有 議員

上郷中、栄村栄中
は一緒になれるか

子どもの読書
活動推進を

問 上郷中と長野県栄中は立地条件等から普段の交流も深いが教職員給与等の大きな課題もあり、県境を越えた学校再編について可能かどうか伺う。

町長 両方の教育委員会あるいは県の課題として、十分に議論に値する検討事項だ。これからの大きな課題である。

問 公立小中学校の図書館には整備すべき蔵書数標準が定められているが財政難のしわ寄せが図書費に及んでいる。各学校の図書標準到達度の実態と読書活動推進方策を伺う。

教育長 9校中4校が文部省の図書標準に達していない。財政効率から各校の図書室を充実させ利用してもらうことが肝要。移動図書室を巡回し必要な資料を提供している。全校朝読書励行。読書熱は高い。



県境の上郷中学校

教育長 選択肢として栄中への業務委託という方法もある。業務委託となると教科書が長野県、各種競技大会も長野県に出場となる。地域で考えていただく課題だ。

県義務教育課にも栄中との統合については話しをした。法的には可能である。

グループホーム進出で介護保険への影響は

町長 介護保険全体の予算で対応

▶▶▶ 吉野 徹 議員

グループホームの対応は

問 高齢化社会への介護福祉在宅サービスの充実が求められているなか、高齢者共同生活支援のグループホーム（痴呆対応型共同生活介護）が設立されている。恵福園や町立病院との連携体制や、介護保険料への影響と対応について伺う。

町長 グループホームの設置条件は、協力医療機関のバックアップ施設が必要条件であり、恵福園、町立病



グループホーム「ゆうゆ」で満足

院との密接な連携体制で取り組んでいる。町も高齢化が進み要介護者の増加が生じており、昨年第2期保険事業計画で保険料見直し算定が行われた。

サービス提供者が増えれば保険料の上昇となるが、今春オープンした「ゆうゆ」と8月オープン予定の「いなほ」は、計画策定後に設置されたことから、保険料への影響も考えられるが、病院療養病床とも関連し、現状の予算で対応できると考える。

集落営農への町の取り組みは

町長 積極的な推進は考えていない

▼▼▼ 大平謙一 議員

担い手農家だけでは農業振興は出来ない

問 今後、国の農業支援策は大規模化を目標としている。我が町の対策は。

町長 担い手への施策が中心になると想定されるが、担い手だけでは多様な農業生産はできない。国土や農村環境の保全も重要である。今後も国の施策のゆくえを注視し対応する。集落営農については、近い将来法人化の見込める取り組みが必要など、条件も難しい。しかし、集落営農を検討したいとの申し出があれば前向きに指導して行きたい。

自律していく町の今後の自主財源確保は

問 交付金の見直しと自主財源の確保は



基幹作物、加工トマトの管理風景

町長 16年度交付税は12%減、所得譲与税が暫定的に委譲されたが削減分を補完できる状態でない。町づくりに計画のなかではこの事を踏まえ、財政シミュレーションしている。三位一体改革の全体像や行程が示されおらず、試算は困難な状

況である。新たな税ということであるが電源立地地域として、現在最高の4千5百万円を受けている。水力発電所在町村の立場でクリーンなエネルギーに対し、手厚い交付金の配分を国に強く訴えている。

下水道使用料見直しの考えは

町長 とりあえずすべての事業が完了するまで

▶▶▶ 樋口松雄 議員

子どもが多い家庭の特別減額は

問 下水道使用料の見直しはできないか。

町長 企業会計を取り入れており、規模が小さい町の場合、努力はするが無理の状況にある。

問 平均世帯人数を上回る一人につき5%の減額は、町長 建設費が膨大で、いま、一般財源を投入している。使用収入が柱であり、



急ピッチで進む下水道工事

早期つなぎ込みで増加をほかりたい。

問 少子高齢化時代、子供の多い家庭に特別減額の方法は考えられないか。

町長 当町の使用料は他と比較し高くない。すべての工事が完了し、さらに、つなぎ込みも100%近く完了すると使用財源にゆとりができると考えられ、とりあえず全ての事業が完了するまで、今そつしますという考えで無いことをご理解いただきたい。

農と縄文の体験館の運営及び責任体制

町長 町直営で、「友の会」の協力を得て運営する

▼▼▼ 島田福一 議員

館長及び経営シミュレーションは

問 「なじよもん」の管理運営及び責任体制のあり方、数名のスタッフでの運営で、接客及び防犯体制は大丈夫か。宿泊先はグリーンピアだけでなく、地元の旅館、民宿、民泊も考えてはどうか。

生涯学習課長 総責任者は町長だが、現場及び企画の責任者は生涯学習課長であり、運営は5名のスタッフと、「ショップ友の会」の協力を得て行う。宿泊先に関しては、プログラムやチラシがほしい地元の旅館組合との話し合いをしたい。また、名誉館長には小林達雄氏（長岡歴史博物館館長）に非常勤でお願いする。経営的には、社会教育施設であり2千5百万円ほどの

持ち出し予算となっている。なお、「なじよもん友の会」は会費での運営を考えている。



なじよもん敷地内の立穴住居

「年金改革」強行に抗議を

町長 参議院選挙で国民が判断

▼▼▼大口 武議員

保険料は青天井
給付は底なし

問 年金改革は二枚看板であった「保険料は上げるが上限を固定する」「給付は下げるが現役世代の収入の50%を確保する」とされてきたものが「ウソ」であることが明らかになった。さらに前代未聞とされる審議打ち切り強行採決、国会議員の未納問題等々に対する町長の見解を伺う。

町長 百年安心どころか百年不安の政治不信をもたらした。年金がしっかり固定され安心して受給できることが基本であり、暮らしの原点である。抗議、撤回については参議院選挙で国民がしっかり見極めて判断すると考えている。

「花の町津南」のイメージを

問 マウンテンパークのゲレンデにオミナエシを植栽出来ないか。花の町津南のイメージを加えたい。

町長 今までもコスモス

などを蒔いてみたがだめだった。ひまわりの誘客効果は大きく、春夏秋冬の花を考えて行かねばならない。オミナエシの植栽を試してみしてほしい。



「花の町津南」の候補地として

オミナエシ

16年度補正予算 一般会計 -- 経済産業省 新エネルギー事業を採択

- 平成16年度の一般会計補正予算(第1号)は、総額2,345万1千円を追加し、57億4,945万1千円となりました。
- 地域新エネルギービジョン策定事業 600万円
- 経済産業省全額補助の事業で、今後、策定委員を選任しバイオマスエネルギーを調べ、計画を策定していきます。
- 地域米消費拡大対策事業 223万円
- 中学校給食の食器類429セットを購入しました。
- 森林整備地域活動支援交付金 200万円
- 1ha1万円の補助で、対象は35年生以下の森林です。
- 教育寄附金 5万2千円
- きこの組合よりご寄附をいただきました。
- 未来を拓くにいがたの人づくり支援事業 205万8千円
- 県内で50校が該当し、町内では、上郷小学校と中学校、地域の合同文化祭に事業費が充てられます。中学生が小学生にダンスや演劇指導をし、共同で文化祭が開催されます。

- 特殊教育生徒区域外就学委託料 40万円
- 県立小出養護学校ふれあいの丘分校への送迎委託料
- 運転業務委託料 30万円
- 学校給食センターから上郷中学校への配送運転業務委託
- 農と縄文実習体験館管理費 471万2千円
- オーブニングイベントやインストラクター養成などにあてられます。



上郷小・中合同文化祭

特別会計

スキー場を活性化センターに委託

スキー場会計は、当初7、944万2千円の予算が盛り込まれていましたが、スキー場とロッジは一体的に運営することが望ましいとして、津南地域活性化センターに運営を委託することになりました。

基本的には、スキー場の維持、管理費として、スキー場運営委託料1、550万円、除雪業務委託料500万円、ゲレンデ用地借上料が480万円など、2、712万7千円が運営費から一般管理費に組み替えが行われました。よって、人件費やバス委託料、公認コース登録料負担金などを除く運営費5、795万1千円が減額となりました。

問 活性化センターは、今も経営が大変なのに、スキー場の業務運営を任せて大丈夫か

答 スキー場部門は厳しいだろうと想定されるが、最悪の場合には町が補てんせざるを得ないだろうと考えている。

問 マウンテンパーク津南は観光の拠点である。廃止されたら観光産業はダメージを受ける。町長のリーダーシップで再建を願う。

答 廃止でなく、スキー場のあり方を検討した職員提案である。今後、どう継続していくかは大きな課題である。

歳入の使用料、手数料3、130万円は、活性化センターの収入となるため減額しました。

よって予算総額は、4、861万8千円となりました。

一般会計	2,345万1千円を追加 57億4,945万1千円
国民健康保険特別会計	19万3千円を追加 9億6,113万3千円
老人保健特別会計	3,184万5千円を追加 15億6,036万1千円
簡易水道特別会計	500万円を追加 2億1,762万円
スキー場特別会計	3,082万4千円減額 4,861万8千円



自立の町づくり懇談会で職員の提案に耳をかたむける町民



シリーズ・町民の声
私も一言

「一 言」

岡 内山弘美さん



「津南に引っ越して、6年目になります。住み始めた頃は、春なのにとても雪が多く驚きを感じました。初めて住む土地で、暮らしていけるか不安でした。

子どもが保育園に通いだしたこともあり、近所の方々から声をかけてもらうことが増えました。「この頃、近所付き合いがない」と聞きますが、津南ではあたり前のように、あいさつを交わすことが多いと感じます。今は、夫の実家に入り、高

齢の方々が多いですが、みなさんひと言ふた言ですが声をかけてくれ、温かさを感じています。なにげないあいさつですが、今思うと、声をかけて頂いたことで不安を取り除いてくれたのではないかと思います。私も二児の母親として子どもたちには、あいさつは大切なんだと感じてもらいたいと思っています。なにげないあいさつですが、その言葉で不安を取り除けたことは、確かです。

「自然豊かな津南」

赤沢 戸祭博文さん



一家4人津南に移り住んで、早いもので、10年目を迎えています。2年前に、今住んでいる赤沢集落へ引っ越して来ました。標高が高いただけあり、以前住んでいた所（陣場下）よりも雪の量が違う。ひと冬2・3回の雪掘りの回数も、5・6回に増えた。スノーダンプを肩に背負い、屋根に登り雪を降ろす。寒い時でも汗をかき、大変な作業であるが、ちょっと一息腰を掛け回りを見渡すと、一面の銀世界。山・田畑・木々・家の屋根（落雪式

等の屋根は別）すべて白一色。晴れた時などは、太陽の光が反射してキラキラと輝き美しい。このような景色を眺めていると、心が和み活力が増す。雪国以外では、体験の出来ない事だと思う。冬だけではない。四季折々すばらし自然を味わえる津南。都会の人々に、もっともっと津南をPRし、津南の自然の素晴らしさを知ってもらえればと思う。



苗ヶ崎小学校ナイター設備点灯式

訂正とおわび
議会だより前号の第156号は第155号の誤りでした。訂正しお詫び申し上げます。

過日、文化センターで町内小学校を対象にしたミニコンサートが開かれました。
ピアノと「声」だけのコンサートでしたが、内容は、歌で世界各国を表現するものでありました。「声」の主人公は当重茜さんという十日町市枯木又出身で、イタリアを始め各地で「声・歌」を発している人でした。子どもたちに心の中から「声」が出るように指導される場面やまたイタリアの歌を妻の方言で歌ってもくれました。
子どもたちには、歌うことの素晴らしさが、短い時間の中で伝わったと思いました。
我が津南町も「小さくてもキラッと輝く」声を日本中に、世界に発信して行きましょう。（勝）

編集後記